

3 診療等の状況

(1) 救急医療の状況

救急告示の状況を見ると、「救急告示有り」の病院は3,932施設（病院総数の44.7%）、一般診療所は418施設（一般診療所総数の0.4%）となっている（表15）。

病院の「救急医療体制有り」は4,230施設（病院総数の48.1%）、「初期救急医療体制」は963施設（同11.0%）、「入院を要する救急医療体制」は3,053施設（同34.7%）、「救命救急センター」は214施設（同2.4%）となっている（図7）。一般診療所の「在宅当番医制有り」は18,892施設（一般診療所総数の19.1%）となっている（表16）。

「精神科救急医療体制有り」は病院で915施設（病院総数の10.4%）となっている（表17）。

病院の夜間（深夜も含む）救急対応が「ほぼ毎日可能」は、「内科」で53.2%、「外科」で41.2%となっている（図8）。

表15 救急告示の状況

平成20(2008)年10月1日現在

	施設数	構成割合(%)
病院	8 794	100.0
救急告示有り	3 932	44.7
救急告示無し	4 862	55.3
一般診療所	99 083	100.0
救急告示有り	418	0.4
救急告示無し	98 665	99.6

図7 病院の救急医療体制の状況

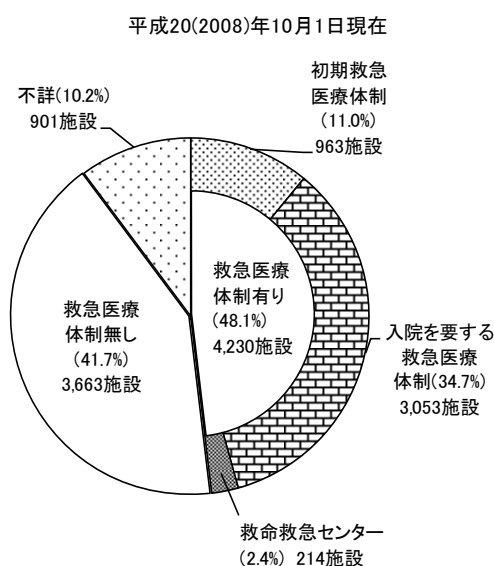


表16 一般診療所の在宅当番医制と休日夜間急患センターの状況

平成20(2008)年10月1日現在

	施設数	
	施設数	施設数に対する割合(%)
総数	99 083	100.0
在宅当番医制有り	18 892	19.1
在宅当番医制無し	80 191	80.9
休日夜間急患センター	434	0.4

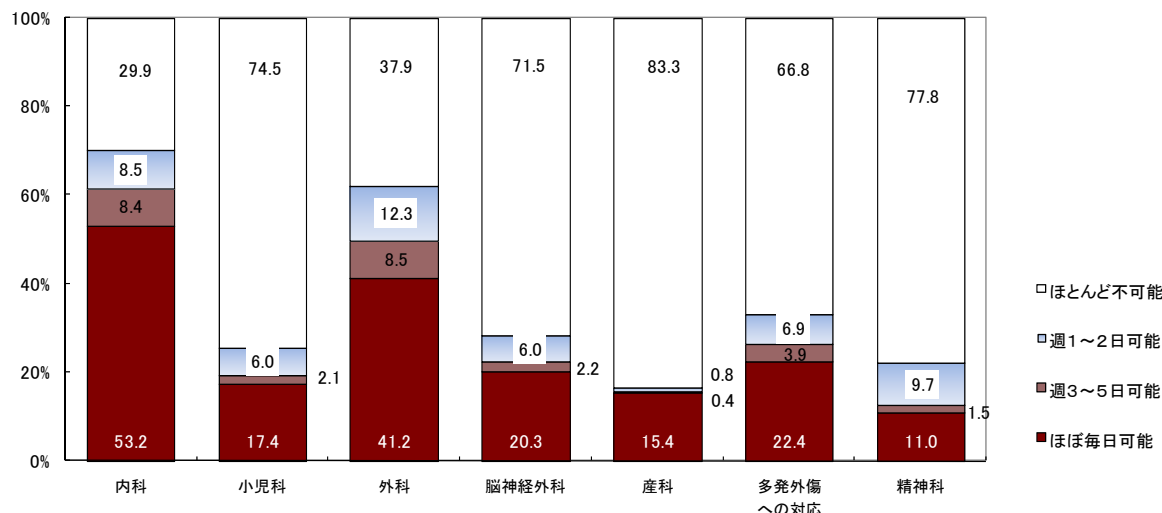
表17 精神科救急医療体制の状況

平成20(2008)年10月1日現在

	施設数		構成割合(%)	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 794	99 083	100.0	100.0
精神科救急医療体制有り	915	141	10.4	0.1
精神科救急医療体制無し	7 879	98 942	89.6	99.9

図8 病院の夜間（深夜も含む）救急対応の状況

平成20(2008)年10月1日現在



注：「不詳」を除いた全病院数に対する構成割合である。

(2) 医療安全体制の状況

病院の医療安全に関する体制の責任者の状況をみると、「医師」を責任者とする施設が、「医療安全体制(全般)」で7,245施設(病院総数の82.4%)、「院内感染防止対策」で6,973施設(同79.3%)、「医療機器安全管理」で3,258施設(同37.0%)と最も多く、「医薬品安全管理」は「薬剤師」を責任者とする施設が6,729施設(同76.5%)と最も多くなっている(表18)。

責任者の専任・兼務の状況をみると、「医療安全体制(全般)」と「院内感染防止対策」では兼務が、「医療機器安全管理」と「医薬品安全管理」では、専任の割合が多くなっている(表19)。

表18 医療安全に関する体制の責任者の状況

		平成20(2008)年10月1日現在									
		総数	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床工学技士	その他	配置していない
施設数	医療安全体制(全般)	8 794	7 245	27	95	1 174	34	24	13	81	101
	院内感染防止対策	8 794	6 973	23	152	1 165	4	337	4	11	125
	医療機器安全管理	8 794	3 258	26	171	1 905	1 226	503	1 477	-	-
	医薬品安全管理	8 794	1 748	35	6 729	111	-	-	-	-	-
構成割合 (%)	医療安全体制(全般)	100.0	82.4	0.3	1.1	13.4	0.4	0.3	0.1	0.9	1.1
	院内感染防止対策	100.0	79.3	0.3	1.7	13.2	0.0	3.8	0.0	0.1	1.4
	医療機器安全管理	100.0	37.0	0.3	1.9	21.7	13.9	5.7	16.8	-	-
	医薬品安全管理	100.0	19.9	0.4	76.5	1.3	-	-	-	-	-

注：総数には無回答を含む。

表19 医療安全に関する体制の責任者の専任・兼務の状況

		平成20(2008)年10月1日現在				
		総数	専任	兼務	医療機器と医薬品安全管理責任者を兼務(再掲)	
施設数	医療安全体制(全般)	8 794	2 989	5 464	-	
	院内感染防止対策	8 794	2 787	5 638	-	
	医療機器安全管理	8 794	5 078	3 177	} 839	
	医薬品安全管理	8 794	6 463	1 815		
構成割合 (%)	医療安全体制(全般)	100.0	34.0	62.1	-	
	院内感染防止対策	100.0	31.7	64.1	-	
	医療機器安全管理	100.0	57.7	36.1	} 9.5	
	医薬品安全管理	100.0	73.5	20.6		

注：総数には無回答を含む。

(3) 検査等の実施状況

平成20年9月中の検査等の実施状況を施設数でみると、一般病院では「3 上部消化管内視鏡検査」が5,439施設（病院総数の70.5%）と最も多く、次いで「1 骨塩定量測定」4,728施設（同61.3%）、「4 大腸内視鏡検査」4,421施設（同57.3%）となっている。

一般診療所では「1 骨塩定量測定」が19,244施設（一般診療所総数の19.4%）、「3 上部消化管内視鏡検査」が16,533施設（同16.7%）となっている。

一般病院の実施1施設当たり患者数をみると、「13 マルチスライスCT」が最も多くなっている。（表20）

表20 検査等の実施状況（複数回答）

平成20(2008)年9月中

		施設数	施設数に対する割合 (%)	患者数	実施1施設当たり患者数
一 般 病 院		7 714	100.0
1	骨 塩 定 量 測 定	4 728	61.3	128 172	27.1
2	気 管 支 内 視 鏡 検 査	1 542	20.0	15 932	10.3
3	上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	5 439	70.5	526 604	96.8
4	大 腸 内 視 鏡 検 査	4 421	57.3	203 185	46.0
5	血 管 連 続 撮 影	1 836	23.8	90 388	49.2
6	D S A (再 掲)	1 539	20.0	33 990	22.1
7	循 環 器 D R (再 掲)	1 128	14.6	52 173	46.3
8	マ ン モ グ ラ フ ィ ー	2 527	32.8	190 948	75.6
9	R I 検 査 (シンチグラム)	1 183	15.3	98 074	82.9
10	S P E C T (再 掲)	1 062	13.8	44 379	41.8
11	P E T	109	1.4	4 639	42.6
12	P E T C T	160	2.1	21 086	131.8
13	マ ル チ ス ラ イ ス C T	3 866	50.1	1 699 351	439.6
14	そ の 他 の C T	2 825	36.6	277 227	98.1
15	M R I 1.5テスラ以上	1 983	25.7	668 428	337.1
16	M R I 1.5テスラ未満	1 567	20.3	174 693	111.5
17	3 D 画 像 処 理	1 684	21.8	154 823	91.9
18	冠動脈CT・心臓MRI(再掲)	871	11.3	21 196	24.3
一 般 診 療 所		99 083	100.0
1	骨 塩 定 量 測 定	19 244	19.4	300 832	15.6
2	気 管 支 内 視 鏡 検 査	213	0.2	1 760	8.3
3	上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	16 533	16.7	378 195	22.9
4	大 腸 内 視 鏡 検 査	6 559	6.6	99 046	15.1
5	血 管 連 続 撮 影	138	0.1	2 448	17.7
6	D S A (再 掲)	74	0.1	482	6.5
7	循 環 器 D R (再 掲)	23	0.0	1 306	56.8
8	マ ン モ グ ラ フ ィ ー	1 115	1.1	188 528	169.1
9	R I 検 査 (シンチグラム)	23	0.0	815	35.4
10	S P E C T (再 掲)	11	0.0	225	20.5
11	P E T	27	0.0	2 654	98.3
12	P E T C T	47	0.0	8 526	181.4
13	マ ル チ ス ラ イ ス C T	1 507	1.5	124 182	82.4
14	そ の 他 の C T	3 380	3.4	127 958	37.9
15	M R I 1.5テスラ以上	379	0.4	84 997	224.3
16	M R I 1.5テスラ未満	1 158	1.2	145 233	125.4
17	3 D 画 像 処 理	609	0.6	51 498	84.6
18	冠動脈CT・心臓MRI(再掲)	60	0.1	1 767	29.5

(4) 設備等の状況

1) 医療機器の設置状況

医療施設の医療機器の設置状況をみると、人口100万対設置台数は、「マンモグラフィー」29.7台、「マルチスライスCT」46.7台となっている（表21）。

表21 医療機器の設置状況

平成20(2008)年10月1日現在

		マンモグラフィー	RI検査 (シンチグラム)	SPECT	PET	PET CT	マルチ スライスCT	その他の CT	MRI 1.5テスラ 以上	MRI 1.5テスラ 未満
設置台数	総 数	3 792	1 577	1 337	199	267	5 960	6 040	2 811	2 641
	一般病院	2 548	1 552	1 326	162	194	4 450	2 671	2 401	1 484
	一般診療所	1 244	25	11	37	73	1 510	3 369	410	1 157
人口 100万対 設置台数	総 数	29.7	12.4	10.5	1.6	2.1	46.7	47.3	22.0	20.7
	一般病院	20.0	12.2	10.4	1.3	1.5	34.8	20.9	18.8	11.6
	一般診療所	9.7	0.2	0.1	0.3	0.6	11.8	26.4	3.2	9.1

2) 特殊診療設備の保有状況

病院の特殊診療設備の保有状況をみると、調査対象とした設備の中では、「10 外来化学療法室」1,376施設（病院総数の15.6%）、「1 特定集中治療室（ICU）」806施設（同9.2%）、「8 無菌治療室（手術室は除く）」401施設（同4.6%）が多くなっている。一方、「6 広範囲熱傷特定集中治療室」は26施設（同0.3%）、「7 小児集中治療室（PICU）」は22施設（同0.3%）と少なくなっている。（表22）

表22 病院の特殊診療設備の保有状況（複数回答）

平成20(2008)年10月1日現在

		施設数	施設数に対する 割合 (%)	病床数
病 院		8 794	100.0	...
1	特 定 集 中 治 療 室 (ICU)	806	9.2	6 087
2	脳 卒 中 集 中 治 療 室 (SCU)	74	0.8	498
3	心 臓 内 科 系 集 中 治 療 室 (CCU)	222	2.5	1 269
4	新 生 児 特 定 集 中 治 療 室 (NICU)	265	3.0	2 310
5	母 体 ・ 胎 児 集 中 治 療 室 (MFICU)	77	0.9	512
6	広 範 囲 熱 傷 特 定 集 中 治 療 室	26	0.3	59
7	小 児 集 中 治 療 室 (PICU)	22	0.3	145
8	無 菌 治 療 室 (手 術 室 は 除 く)	401	4.6	2 622
9	放 射 線 治 療 病 室	86	1.0	228
10	外 来 化 学 療 法 室	1 376	15.6	8 775

(5) 手術等の実施状況

1) 手術等の実施状況

平成20年9月中の手術等の状況をみると、一般病院では「1 全身麻酔（静脈麻酔は除く）」3,652施設（一般病院総数の47.3%）、「2 内視鏡下消化管手術」2,803施設（同36.3%）が多くなっている。一般診療所では、「2 内視鏡下消化管手術」1,886施設（一般診療所総数の1.9%）、「11 人工透析」1,832施設（同1.8%）が多くなっている。「3 悪性腫瘍手術」を実施した一般病院を部位別にみると、「10 大腸がん」1,979施設（一般病院総数の25.7%）、「6 胃がん」1,697施設（同22.0%）、「13 乳がん」1,266施設（同16.4%）が多くなっている。（表23）

表23 手術等の実施状況

		平成20(2008)年9月中			
		施設数	施設数に対する割合(%)	実施件数	実施1施設当たり実施件数
一 般 病 院		7 714	100.0
1	全身麻酔（静脈麻酔は除く）	3 652	47.3	187 097	51.2
2	内視鏡下消化管手術	2 803	36.3	56 317	20.1
3	悪性腫瘍手術	2 522	32.7	44 010	17.5
4	食道がん（再掲）	339	4.4	863	2.5
5	肺がん（再掲）	700	9.1	3 215	4.6
6	胃がん（再掲）	1 697	22.0	7 038	4.1
7	肝臓がん（再掲）	751	9.7	3 013	4.0
8	胆嚢がん（再掲）	334	4.3	578	1.7
9	膵臓がん（再掲）	449	5.8	841	1.9
10	大腸がん（再掲）	1 979	25.7	9 157	4.6
11	腎がん（再掲）	599	7.8	1 356	2.3
12	前立腺がん（再掲）	675	8.8	1 805	2.7
13	乳がん（再掲）	1 266	16.4	5 570	4.4
14	子宮がん（再掲）	595	7.7	2 503	4.2
15	人工透析	2 336	30.3	1 515 397	648.7
16	分娩（正常分娩を含む）	1 126	14.6	47 626	42.3
17	帝王切開娩出術（再掲）	1 056	13.7	11 089	10.5
一 般 診 療 所		99 083	100.0
1	全身麻酔（静脈麻酔は除く）	867	0.9	6 632	7.6
2	内視鏡下消化管手術	1 886	1.9	16 006	8.5
3	悪性腫瘍手術	305	0.3	1 142	3.7
4	胃がん（再掲）	45	0.0	64	1.4
5	胆嚢がん（再掲）	2	0.0	2	1.0
6	大腸がん（再掲）	143	0.1	294	2.1
7	前立腺がん（再掲）	20	0.0	43	2.2
8	乳がん（再掲）	52	0.1	363	7.0
9	子宮がん（再掲）	10	0.0	27	2.7
10	外来化学療法	612	0.6	7 043	11.5
11	人工透析	1 832	1.8	1 495 240	816.2
12	分娩（正常分娩を含む）	1 441	1.5	42 792	29.7
13	帝王切開娩出術（再掲）	1 187	1.2	5 553	4.7
歯 科 診 療 所		67 779	100.0
1	歯周外科手術	29 440	43.4
2	骨折・顎骨腫瘍手術等	928	1.4
3	インプラント手術	14 580	21.5

2) 分娩の状況

平成20年9月中に「分娩（正常分娩を含む）」を実施した施設数をみると、一般病院1,126施設、一般診療所1,441施設となっており、年々減少している（表24）。

また、分娩件数を年次推移でみると、帝王切開娩出術件数は年々増加している（表25、図9）。

一般病院で分娩を取り扱っている施設のうち、LDRを設置しているのは、325施設（分娩取扱あり施設の28.3%）となっている（表26）。

表24 分娩を実施した施設数の年次推移

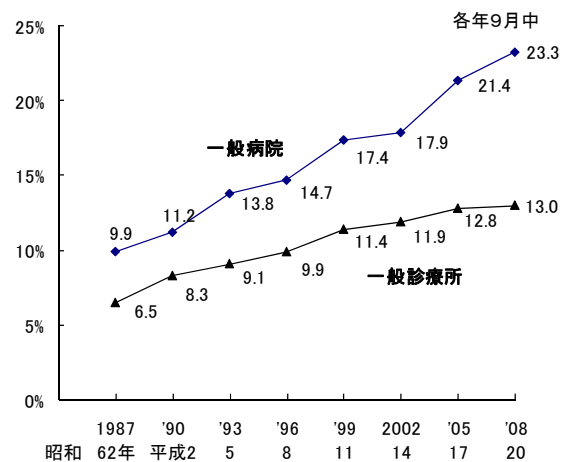
	分娩を実施した施設総数			構成割合(%)		
	分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数	分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数	構成割合(%)	
					分娩を実施した 一般病院数	分娩を実施した 一般診療所数
平成8年(1996)	3 991	2 271	1 720	100.0	43.1	56.9
11 ('99)	3 697	2 072	1 625	100.0	44.0	56.0
14 (2002)	3 306	1 803	1 503	100.0	45.5	54.5
17 ('05)	2 933	1 612	1 321	100.0	45.0	55.0
20 ('08)	2 567	1 441	1 126	100.0	43.9	56.1

各年9月中

表25 分娩件数の年次推移

	各年9月中					
	分娩件数	一般病院		分娩件数	一般診療所	
		帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)		帝王切開 娩出術 件数 (再掲)	分娩に 占める 割合 (%)
昭和62年 ('87)	59 939	5 933	9.9	45 040	2 948	6.5
平成2年 ('90)	53 497	5 981	11.2	35 233	2 919	8.3
5 ('93)	54 065	7 486	13.8	40 347	3 687	9.1
8 ('96)	52 976	7 791	14.7	43 034	4 270	9.9
11 ('99)	50 959	8 852	17.4	40 097	4 571	11.4
14 (2002)	49 629	8 900	17.9	41 498	4 938	11.9
17 ('05)	44 865	9 623	21.4	40 247	5 156	12.8
20 ('08)	47 626	11 089	23.3	42 792	5 553	13.0

図9 帝王切開娩出術の割合の年次推移



注：割合は、帝王切開娩出術件数の、分娩件数に対する割合である。

表26 分娩の状況

	平成20(2008)年10月1日現在					
	総数	分娩取扱あり ¹⁾	担当医師数 (常勤換算)	担当助産師数 (常勤換算)	LDRあり ²⁾	LDR病床数
一般病院	施設数 7 714	施設数 1 149	人 4 981.0	人 14 053.6	施設数 325	床 648
一般診療所	99 083	1 564	2 409.2	4 118.0
構成割合(%)						
一般病院	100.0	14.9	[28.3]	...
一般診療所	100.0	1.6

注：1) 分娩取扱ありとは、9月中の分娩の有無にかかわらず、施設で分娩を取り扱っている場合をいう。
2) LDRとは、入院する病床で、陣痛・分娩から回復までを過ごすことができる、居室型分娩室をいう。
3) []内は、分娩取扱あり一般病院に占める「LDRあり」の割合である。

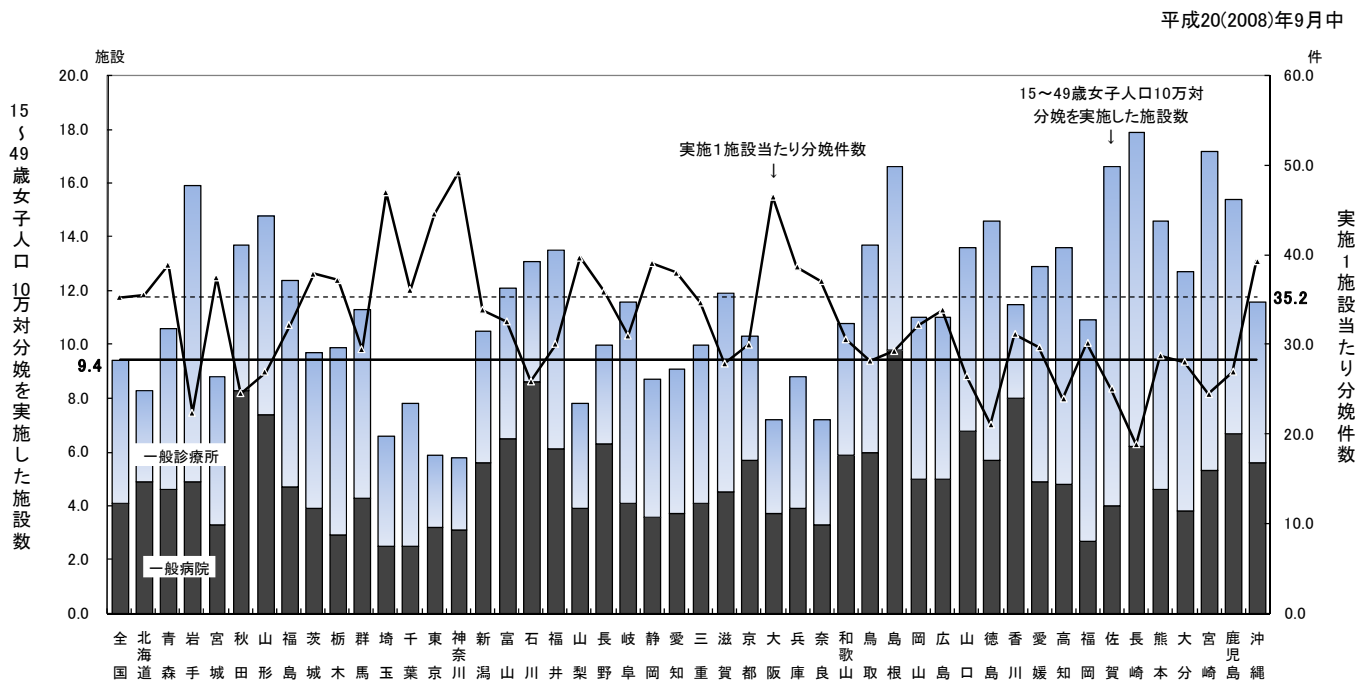
3) 都道府県別にみた分娩を実施した施設の状況

平成20年9月中に分娩を実施した施設数を15～49歳女子人口10万対で見ると、全国平均9.4施設（一般病院と一般診療所の合計）となっている。

これを都道府県別で見ると、長崎県（17.9施設）、宮崎県（17.2施設）、島根県（16.7施設）などが多く、神奈川県（5.8施設）、東京都（5.9施設）、埼玉県（6.6施設）などが少なくなっている。

「実施1施設当たり分娩件数」は全国平均35.2件となっており、神奈川県（49.1件）、埼玉県（46.9件）、大阪府（46.4件）などが多く、長崎県（18.8件）、徳島県（21.0件）、岩手県（22.3件）などが少なくなっている。（図10）

図10 都道府県別にみた分娩を実施した施設の状況



(6) 緩和ケアの状況

緩和ケア（施設基準を満たしていないものを含む。）の状況を見ると、「緩和ケア病棟がある」病院は229施設（病院総数の2.6%）、「緩和ケアチームがある」病院は612施設（同7.0%）となっている（表27）。

表27 緩和ケアの状況

平成20（2008）年10月1日現在

		施設数	構成割合 (%)			施設数	構成割合 (%)
総数		8 794	100.0	総数		8 794	100.0
緩和ケア病棟あり	施設数	229	2.6	緩和ケアチームあり	施設数	612	7.0
	病床数	4 230	...		9月中の患者数	16 349	...
	9月中の取扱患者延数	70 542	...		(再掲)新規依頼患者数	3 453	...
緩和ケア病棟なし		8 565	97.4	緩和ケアチームなし		8 182	93.0

(7) 健診・保健指導の状況

生活習慣病に関する健診・保健指導の状況（いわゆる「特定健康診査・特定保健指導」の状況）をみると、健診を「実施している」施設は、病院で5,802施設（病院総数の66.0%）、保健指導を「実施している」施設は2,938施設（同33.4%）となっている。一般診療所では、それぞれ43,287施設（一般診療所総数の43.7%）、20,087施設（同20.3%）になっている。（表28、表29）

表28 生活習慣病に関する健診の状況
（実施している項目は複数回答）

表29 生活習慣病に関する保健指導の状況
（実施している項目は複数回答）

平成20（2008）年10月1日現在

平成20（2008）年10月1日現在

	施設数		構成割合 (%)	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 794	99 083	100.0	100.0
実施している	5 802	43 287	66.0	43.7
医療保険者からの委託による	3 820	25 290	43.4	25.5
その他	1 782	11 157	20.3	11.3
実施していない	2 992	55 796	34.0	56.3

	施設数		構成割合 (%)	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 794	99 083	100.0	100.0
実施している	2 938	20 087	33.4	20.3
医療保険者からの委託による	1 882	9 162	21.4	9.2
その他	989	7 668	11.2	7.7
実施していない	5 856	78 996	66.6	79.7

(8) 受動喫煙防止対策等の状況

受動喫煙防止対策の状況をみると、「施設内を全面禁煙としている」施設は、病院3,258施設（病院総数の37.0%）、一般診療所48,934施設（一般診療所総数の49.4%）、歯科診療所38,151施設（歯科診療所総数の56.3%）となっている（表30）。

禁煙外来を実施している施設は、病院は1,688施設（病院総数の19.2%）、一般診療所は8,536施設（一般診療所総数の8.6%）となっている。また、ニコチン依存症管理料を算定している施設は、病院では1,243施設（病院総数の14.1%）、一般診療所は5,869施設（一般診療所総数の5.9%）となっている。（表31）

表30 受動喫煙防止対策の状況

平成20（2008）年10月1日現在

	施設数			構成割合 (%)		
	病院	一般診療所	歯科診療所	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	8 794	99 083	67 779	100.0	100.0	100.0
敷地内を全面禁煙としている	2 361	22 797	13 817	26.8	23.0	20.4
施設内を全面禁煙としている	3 258	48 934	38 151	37.0	49.4	56.3
喫煙場所を設置し、非喫煙場所に煙が流れ出ないようにしている	2 722	12 568	6 803	31.0	12.7	10.0
その他の措置を講じている	352	3 061	1 721	4.0	3.1	2.5
何ら措置を講じていない	45	3 450	2 809	0.5	3.5	4.1
不詳	56	8 273	4 478	0.6	8.3	6.6

表31 禁煙外来等の状況

平成20（2008）年10月1日現在

		施設数		構成割合 (%)	
		病院	一般診療所	病院	一般診療所
禁煙外来の有無	総数	8 794	99 083	100.0	100.0
	禁煙外来あり	1 688	8 536	19.2	8.6
	禁煙外来なし	7 106	90 547	80.8	91.4
ニコチン依存症管理料の算定	総数	8 794	99 083	100.0	100.0
	ニコチン依存症管理料算定あり	1 243	5 869	14.1	5.9
	ニコチン依存症管理料算定なし	7 551	93 214	85.9	94.1

(9) 保育施設・子育て支援の状況

病院における職員のための院内保育の状況をみると、院内保育を実施している施設は 3,031 施設（病院総数の 34.5%）で、前回調査に比べ増加している。また、夜間保育を実施している施設は 1,426 施設（同 16.2%）、病児保育を実施している施設は 449 施設（同 5.1%）となっている。院内保育の利用者は「自施設の看護師・准看護師」が 2,860 施設（院内保育を実施している病院総数の 94.4%）と最も多くなっている。（表 32、33、34）

利用者の有無に関わらず、病院が行っている子育て支援としては、「始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ」4,382 施設（病院総数の 49.8%）、「男性職員の出産休暇」3,257 施設（同 37.0%）、「代替職員の配置」3,247 施設（同 36.9%）となっている（表 35）。

表 32 職員のための院内保育サービスの状況

	各年10月1日現在			
	病院数		構成割合 (%)	
	平成20年 (2008)	平成17年 (2005)	平成20年 (2008)	平成17年 (2005)
総数	8 794	9 026	100.0	100.0
院内保育を実施している 総数	3 031	2 754	34.5	30.5
院内の施設を利用	2 326	2 018	26.4	22.4
院外の施設を利用	721	743	8.2	8.2

表 33 夜間保育・病児保育の状況

	平成20(2008)年10月1日現在			平成20(2008)年10月1日現在	
	病院数	構成割合 (%)		病院数	構成割合 (%)
総数	8 794	100.0	総数	8 794	100.0
夜間保育有り	1 426	16.2	病児保育有り	449	5.1
夜間保育無し	7 368	83.8	病児保育無し	8 345	94.9

表 34 院内保育の利用者の状況（複数回答）

	平成20(2008)年10月1日現在	
	病院数	病院数に対する割合 (%)
院内保育を実施している	3 031	100.0
自施設の医師・歯科医師	1 666	55.0
自施設の看護師・准看護師	2 860	94.4
その他の自施設の職員	2 086	68.8
併設施設の職員	911	30.1
その他	197	6.5

表 35 子育て支援導入の状況（複数回答）

	平成20(2008)年10月1日現在	
	病院数	病院数に対する割合 (%)
総数	8 794	100.0
男性職員の育児時間	2 704	30.7
男性職員の出産休暇	3 257	37.0
代替職員の配置	3 247	36.9
休業中の職員への情報提供	2 314	26.3
再就業する職員への研修	1 200	13.6
フレックスタイム	738	8.4
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	4 382	49.8
育児費用の援助措置	1 245	14.2

注：子育て支援の状況は、利用者の有無にかかわらず、導入しているものすべてについての回答である。

4 従事者の状況

病院の従事者については、(6) 診療科目別にみた男女別医師数を除き、病院報告の結果を用いた。（病院報告の概要 2 頁）

(1) 病院の従事者数

従事者数を職種別にみると、「医師」は 187,947.6 人、そのうち「医師（常勤）」は 150,238 人で、前年に比べ 2,766 人（1.9%）増加している。「歯科医師」は 9,981.3 人、そのうち「歯科医師（常勤）」は 8,326 人で、前年に比べ 261 人（3.2%）増加している。

「薬剤師」は 41,760.0 人、「看護師」は 636,970.8 人となっている。（表 36）

(2) 一般診療所の従事者数

従事者数を職種別にみると、「医師」は 117,567.5 人、そのうち「医師（常勤）」は 97,357 人で、前回に比べ 988 人（1.0%）増加している。

「看護師」は 84,963.0 人、「准看護師」は 89,697.4 人となっている。（表 36）

(3) 歯科診療所の従事者数

従事者数を職種別にみると、「歯科医師」は92,854.0人、そのうち「歯科医師（常勤）」は81,662人で、前回に比べ1,438人（1.8%）増加している。

「歯科衛生士」は78,907.3人、「歯科技工士」は10,674.0人となっている。（表36）

表36 職種別にみた施設の従事者数

		病 院				一般診療所	歯科診療所
		総数 ¹⁾	精神病院 (再掲)	一般病院 (再掲)	医育機関 (再掲)		
		常 勤 換 算					
	総 数	1 771 435.8	165 774.1	1 605 590.8	171 142.9	699 202.1	300 950.2
1	医 師	187 947.6	8 576.6	179 366.4	42 040.6	117 567.5	124.6
2	常 勤	150 238	6 151	144 084	34 541	97 357	66
3	非 常 勤	37 709.6	2 425.6	35 282.4	7 499.6	20 210.5	58.6
4	歯 科 医 師	9 981.3	135.5	9 845.8	7 087.3	1 881.3	92 854.0
5	常 勤	8 326	49	8 277	6 013	1 257	81 662
6	非 常 勤	1 655.3	86.5	1 568.8	1 074.3	624.3	11 192.0
7	介 輔	1.0	...
8	薬 剤 師	41 760.0	2 996.9	38 760.3	4 556.4	6 550.6	866.2
9	保 健 師	3 983.6	56.7	3 926.9	534.9	5 184.9	...
10	助 産 師	18 130.7	3.0	18 127.7	2 586.3	5 206.9	...
11	看 護 師	636 970.8	46 625.7	590 333.1	73 237.1	84 963.0	378.0
12	准 看 護 師	170 782.5	35 943.3	134 823.4	827.3	89 697.4	257.9
13	看護業務補助者	189 838.3	29 258.8	160 563.1	4 390.3	31 931.9	...
14	理学療法士(PT)	38 675.3	111.1	38 564.2	1 236.3	6 683.0	...
15	作業療法士(OT)	24 456.7	4 678.4	19 778.3	566.1	1 804.6	...
16	視能訓練士	2 956.4	-	2 956.4	540.2	2 647.0	...
17	言語聴覚士	7 869.2	27.1	7 842.1	332.8	714.1	...
18	義肢装具士	60.6	-	60.6	-	81.3	...
19	歯科衛生士	4 266.6	121.7	4 144.9	950.6	1 603.6	78 907.3
20	歯科技工士	781.1	4.3	776.8	324.0	196.2	10 674.0
21	歯科業務補助者	83 168.3
22	診療放射線技師	37 443.2	477.0	36 965.2	4 297.4	8 672.6	...
23	診療エックス線技師	312.8	26.6	286.2	0.6	1 498.3	...
24	臨床検査技師	47 371.9	920.1	46 450.8	6 474.1	12 387.5	...
25	衛生検査技師	202.2	9.0	193.2	40.1	321.0	...
26	臨床工学技士	11 931.9	7.0	11 924.9	1 278.6	4 627.3	...
27	あん摩マッサージ指圧師	2 743.4	26.5	2 716.9	29.8	4 639.3	...
28	柔道整復師	630.1	3.0	627.1	5.0	2 930.8	...
29	管理栄養士	17 489.3	1 789.5	15 697.8	952.0
30	栄養士 ²⁾	5 917.6	1 041.3	4 876.3	289.3	7 557.0	...
31	精神保健福祉士	6 766.2	4 879.2	1 887.0	68.5	1 432.7	...
32	社会福祉士	4 581.2	69.8	4 510.4	169.9	2 239.0	...
33	介護福祉士	27 481.0	1 916.1	25 564.9	62.0	24 655.8	...
34	その他の技術員	15 900.2	2 233.4	13 666.8	1 305.3	9 732.5	...
35	医療社会事業従事者	9 200.9	860.9	8 340.0	290.3	1 862.5	...
36	事務職員	162 736.1	10 208.0	152 521.6	13 084.0	195 937.1	26 760.1
37	その他の職員	82 267.1	12 767.6	69 491.7	3 585.8	63 994.4	6 959.8
		前年(平成19年)調査				前回(平成17年)調査	
1	医 師	183 828.3	8 455.3	175 369.0	40 314.8	113 103.1	149.1
2	常 勤	147 472	6 077	141 393	32 865	96 369	85
4	歯 科 医 師	9 684.1	144.4	9 539.7	6 774.3	1 788.5	87 498.0
5	常 勤	8 065	63	8 002	5 750	1 195	80 224
8	薬 剤 師	41 032.2	2 926.2	38 103.2	4 287.6	6 744.4	693.9
9	保 健 師	3 517.6	54.3	3 463.3	507.5	4 564.5	...
10	助 産 師	17 597.0	3.0	17 594.0	2 405.4	3 533.1	...
11	看 護 師	618 406.4	45 353.0	573 040.4	68 017.9	75 842.8	301.0
12	准 看 護 師	176 441.8	36 666.1	139 759.0	931.8	101 544.0	180.1
19	歯科衛生士	4 201.3	121.6	4 079.7	933.0	1 628.0	71 212.8
20	歯科技工士	798.0	5.4	792.6	324.0	234.4	11 614.8

注：1) 病院の総数には、結核療養所を含む。

2) 一般診療所の「栄養士」には、「管理栄養士」も含む。

3) 病院の従事者は「病院報告」、一般診療所、歯科診療所の従事者は3年に1度の「医療施設静態調査」の結果を用いた。

(4) 病院における職種別に見た100床当たり従事者数

病院の100床当たり常勤換算従事者数は110.0人で、前年(107.2人)に比べ2.8人増加している。

このうち、精神科病院は64.1人、一般病院は118.8人となっている。

職種別にみると、「医師」は11.7人で、前年(11.3人)に比べ0.4人増加し、「看護師」は39.6人で、前年(38.2人)に比べ1.4人増加している。「准看護師」は10.6人で、前年(10.9人)に比べ0.3人減少している。(表37)

(参考) 統計表16 都道府県-18大都市・中核市(再掲)別に見た病院の常勤換算従事者数及び100床当たり常勤換算従事者数

表37 病院の種類・主な職種別に見た100床当たり常勤換算従事者数

(単位:人)		各年10月1日現在										
		総数	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	診療放射線技師・診療エックス線技師	臨床検査技師・衛生検査技師	管理栄養士・栄養士	その他	
平成20年 (2008)	総数	110.0	11.7	0.6	2.6	39.6	10.6	2.3	3.0	1.5	38.2	
	精神科病院	64.1	3.3	0.1	1.2	18.0	13.9	0.2	0.4	1.1	26.0	
	結核療養所	76.2	4.9	0.0	3.0	12.9	17.0	1.1	1.1	2.2	34.1	
	一般病院	118.8	13.3	0.7	2.9	43.7	10.0	2.8	3.5	1.5	40.6	
平成19年 (2007)	総数	107.2	11.3	0.6	2.5	38.2	10.9	2.3	2.9	1.4	37.0	
	精神科病院	63.0	3.3	0.1	1.1	17.5	14.2	0.2	0.4	1.1	25.2	
	結核療養所	73.2	4.3	-	3.0	14.0	18.0	1.1	1.1	2.2	29.7	
	一般病院	115.6	12.9	0.7	2.8	42.1	10.3	2.7	3.4	1.5	39.3	

(5) 都道府県別に見た病院における人口10万対常勤換算医師数

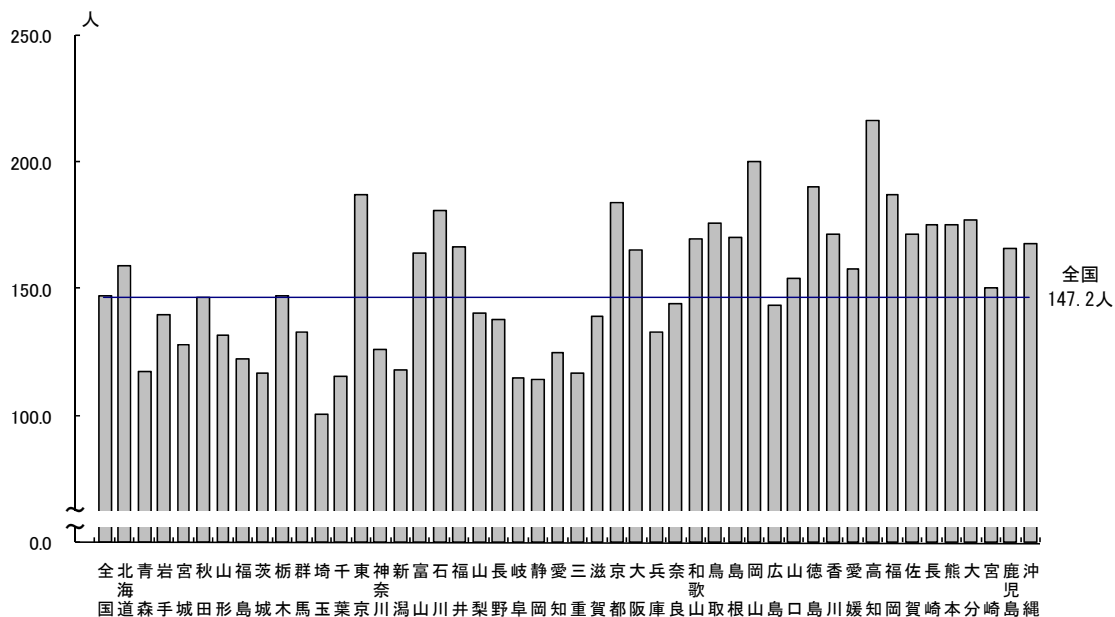
人口10万対の常勤換算医師数を都道府県別にみると、高知県(216.6人)が最も多く、次いで岡山県(200.4人)となっており、埼玉県(100.7人)が最も少なく、次いで静岡県(113.9人)となっている。

(図11)

(参考) 統計表17 都道府県別に見た病院における常勤換算医師数及び人口10万対常勤換算医師数の年次推移

図11 都道府県別に見た病院における人口10万対常勤換算医師数

平成20(2008)年10月1日現在



(6) 診療科目別にみた男女別医師数（医療施設調査）

病院の診療科目別医師数（常勤換算）をみると、男性医師では、「内科」が31,667.5人と最も多く、次いで、「外科」16,903.4人、「整形外科」12,333.2人となっている。女性医師では、「内科」が6,421.7人と最も多く、次いで、「小児科」2,732.6人、「精神科」2,118.8人となっている。（表38）

表38 診療科目別にみた男女別医師数（常勤換算）

平成20(2008)年10月1日現在

	医師数(常勤換算)			構成割合(%)		
	総数	男性医師	女性医師	総数	男性医師	女性医師
内科	38 089.2	31 667.5	6 421.7	100.0	83.1	16.9
呼吸器内科	3 474.8	2 878.2	596.6	100.0	82.8	17.2
循環器内科	7 911.9	7 042.8	869.1	100.0	89.0	11.0
消化器内科（胃腸内科）	6 613.5	5 726.1	887.4	100.0	86.6	13.4
腎臓内科	654.8	501.0	153.8	100.0	76.5	23.5
神経内科	3 326.4	2 664.3	662.1	100.0	80.1	19.9
糖尿病内科（代謝内科）	555.7	408.0	147.7	100.0	73.4	26.6
血液内科	383.0	313.1	69.9	100.0	81.7	18.3
皮膚科	3 483.4	1 971.1	1 512.3	100.0	56.6	43.4
アレルギー科	196.4	150.2	46.2	100.0	76.5	23.5
リウマチ科	549.1	476.5	72.6	100.0	86.8	13.2
感染症内科	58.9	52.8	6.1	100.0	89.6	10.4
小児科	8 867.3	6 134.7	2 732.6	100.0	69.2	30.8
精神科	11 864.8	9 746.0	2 118.8	100.0	82.1	17.9
心療内科	402.7	323.1	79.6	100.0	80.2	19.8
外科	18 035.9	16 903.4	1 132.5	100.0	93.7	6.3
呼吸器外科	1 063.9	1 010.2	53.7	100.0	95.0	5.0
心臓血管外科 ²⁾	2 565.8	2 452.3	113.5	100.0	95.6	4.4
乳腺外科	200.3	152.7	47.6	100.0	76.2	23.8
気管食道外科	16.7	14.4	2.3	100.0	86.2	13.8
消化器外科（胃腸外科）	1 401.6	1 326.3	75.3	100.0	94.6	5.4
泌尿器科	4 943.8	4 692.1	251.7	100.0	94.9	5.1
肛門外科	354.7	342.5	12.2	100.0	96.6	3.4
脳神経外科	5 845.6	5 562.7	282.9	100.0	95.2	4.8
整形外科	12 918.9	12 333.2	585.7	100.0	95.5	4.5
形成外科	1 741.8	1 324.5	417.3	100.0	76.0	24.0
美容外科	17.9	11.5	6.4	100.0	64.2	35.8
眼科	4 886.8	3 130.2	1 756.6	100.0	64.1	35.9
耳鼻いんこう科	3 700.6	2 960.4	740.2	100.0	80.0	20.0
小児外科	572.8	488.9	83.9	100.0	85.4	14.6
産婦人科	5 226.1	3 637.3	1 588.8	100.0	69.6	30.4
産科	828.2	556.1	272.1	100.0	67.1	32.9
婦人科	927.0	668.8	258.2	100.0	72.1	27.9
リハビリテーション科	3 180.3	2 773.5	406.8	100.0	87.2	12.8
放射線科	5 019.7	4 087.5	932.2	100.0	81.4	18.6
麻酔科	6 950.6	4 845.0	2 105.6	100.0	69.7	30.3
病理診断科	271.9	218.4	53.5	100.0	80.3	19.7
臨床検査科	121.7	102.1	19.6	100.0	83.9	16.1
救急科	951.7	837.8	113.9	100.0	88.0	12.0
歯科	5 348.6	3 867.9	1 480.7	100.0	72.3	27.7
矯正歯科	492.0	341.5	150.5	100.0	69.4	30.6
小児歯科	335.4	185.3	150.1	100.0	55.2	44.8
歯科口腔外科	2 757.8	2 238.3	519.5	100.0	81.2	18.8

注：1) 診療科目区分が可能なものについて計上している。

2) 心臓血管外科には循環器外科を含む。